



平成27年2月5日

各位

上場会社名 日本海洋掘削株式会社  
 代表者 代表取締役社長 市川 祐一郎  
 (コード番号 1606)  
 問合せ先責任者 広報・IR室長 谷内 正彦  
 (TEL 03-5847-5862)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成26年11月6日に公表しました通期連結業績予想を下記の通り修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	35,626	252	1,131	979	54.39
今回修正予想(B)	34,175	261	2,514	1,902	105.67
増減額(B-A)	△1,450	9	1,383	922	
増減率(%)	△4.1	3.6	122.4	94.2	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	40,134	9,910	12,281	6,106	339.23

#### 修正の理由

平成27年3月期通期連結業績予想につきましては、売上高は、前回公表予想を下回る見通しとなりましたが、営業利益、経常利益、及び当期純利益は、前回公表予想を上回る見通しとなりました。

売上高につきましては、円安による増収、既存リグの操業が前回公表予想に比べ順調に推移していること等の増収要因がありますものの、「ちきゅう」による商業掘削工事の開始が遅れることとなったこと及び「HAKURYU-12」の動員開始時期が遅れを見込んだこと等から、全体としては前回公表予想と比べて減収となる見込みであります。

一方、既存リグの原価は前回公表予想に比べて大きな変動が見込まれないこと、円安による原価増も売上高に比べると限定的であること、「ちきゅう」による商業掘削工事開始の遅れ及び「HAKURYU-12」の動員開始の遅れに伴う原価の減少等を見込んだことから、営業利益は、前回公表予想と比べて若干の増益となる見込みであります。

経常利益は、営業外損益において為替差益の増加を見込んだこと等から大幅に増益となる見込みであります。

なお、今回の通期連結業績予想に用いた第4四半期の為替換算レートは1米ドル115円(前回予想は105円)です。

※上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上